

就任のご挨拶



(社)日立労働基準協会

会長 稲垣 直人

本年度より、当協会の会長を務めさせて頂くこととなりましたので、この場をお借りしまして、ご挨拶を申し上げます。

会員事業場の皆様には、平素より当協会の運営に際しまして、多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、日立労働基準監督署のご支援により、各種事業が順調に実施できておりますことに感謝申し上げます。

さて、茨城県における労働災害防止重点施策として、平成二十一年度を初年度とするリスクアセスメント普及三カ年計画が示されており、今年度は二年目となります。当協会と致しましても、この労働基準行政に沿った活動を展開するよう努めており、今年度は従来より実施して参りました危険予知訓練リーダー研修会に替え、リスクアセスメント担当者研修会を開催することと致しましたので、是非、積極的な参加を宜しくお願い申し上げます。

日立労働基準監督管内における休業四日以上之死傷災害の発生状況を見ても、平成二十一年度は前年度比で四十七件も減少しております。これは経済活動の停滞によるものとも言われておりますが、各事業場の地道な安全活動の成果ではないかと思えます。

しかしながら、五年や十年といった中長期的な視点では、労働災害の発生状況に大きな変化は認められず、下げ止まりの傾向にあります。この点から考えますと、安全活動を従来の延長線上で実施致しましても成果は期待出来ないものと思われまます。安全活動が形式的な活動になってないか、安全スタッフだけが満足している活動になってないかよく確認し、実効ある活動を展開され、多くの事業場で無災害を達成して頂きたいと思えます。

安全衛生を取り巻く環境も多くの課題がありますが、会員事業場並びに日立労働基準監督署のご協力を賜りながら、当協会と致しましては、少しでも皆様との二ーズに答えられるよう事業を運営していく所存でありますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員事業場の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶



日立労働基準監督署

署長 寺門 行輝

四月一日付けで、日立労働基準監督署長を拝命しました。よろしくお願いたします。

当署は、二十数年前に安全衛生担当主任として勤務して以来、二回目の勤務となります。当時は、常磐自動車道の工事が最盛期を迎えており、日立北インターチェンジ以北、県境までの切土工事・橋梁工事等の現場に度々足を運びました。

当時、管内の休業四日以上之死傷災害は年間五百件近く発生しておりましたが、最近では年間二百件を割るところまで、大幅な減少をみております。これもひとえに、管内の関係労使の方々が、労働災害防止に向けて真摯に取り組んで来られた賜物であり、敬意と感謝を申し上げます。

さて、県内の景気は、製造業を中心に景況感も改善傾向にありますが、雇用情勢は、五月の有効求人倍率が〇・四六倍と、依然として厳しい状況が続いております。

当署の窓口にも、解雇や休業手当、時間外労働手当の不払い等の相談が依然として少なからず寄せられているところです。

このような中、当署といたしましては、引き続き、当行政の基本的使命である適正な労働条件の確保や安全衛生の確保改善に全力で取り組み、安全にかつ安心して、活き活きと働ける職場の実現を目指すとともに、不幸にして被災された方とご家族の生活の安定のため労災保険の迅速給付に努めてまいります。

皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

